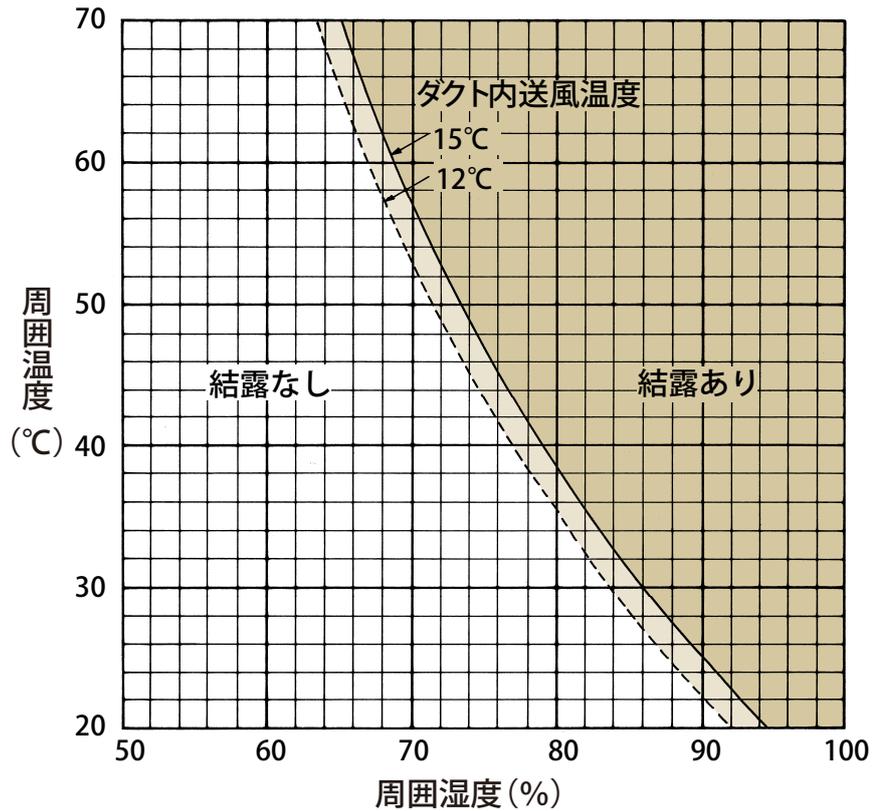


CTD型 高消音タイプ

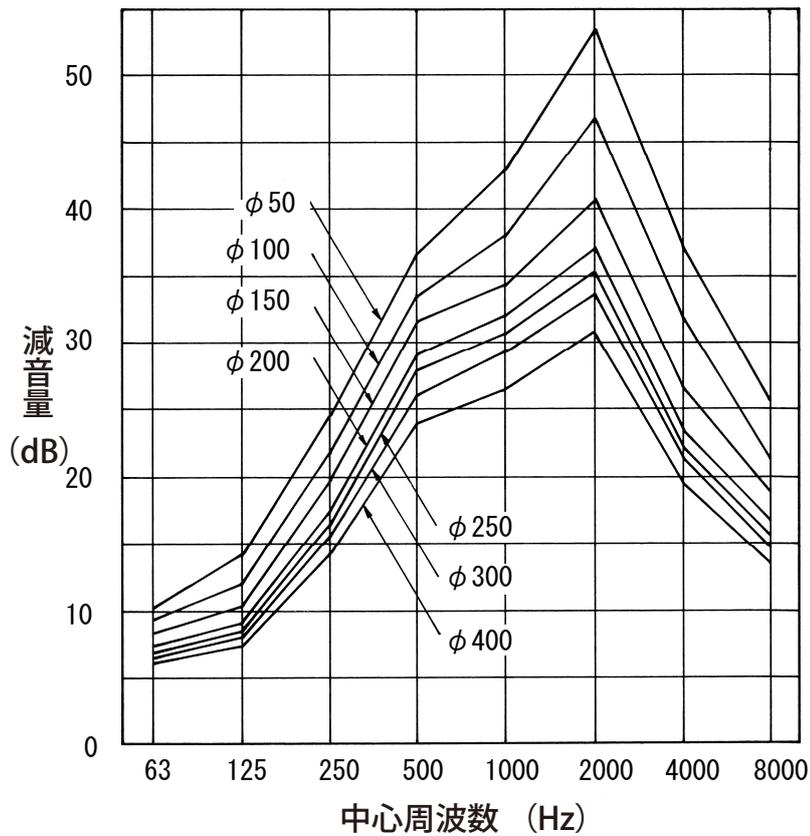
■ 保温・防露効果（露点温度曲線）



- 注) 1. 消音タイプの場合、特に保温・防露効果は風速および静圧によって変化します。
 表記のグラフはφ200ダクト、風速：4m/s、静圧：100Paでのデータをもとに作成したものです。
2. 送風特性はPDF内の「各タイプ共通 送風特性」をご参照ください。

CTD型 高消音タイプ

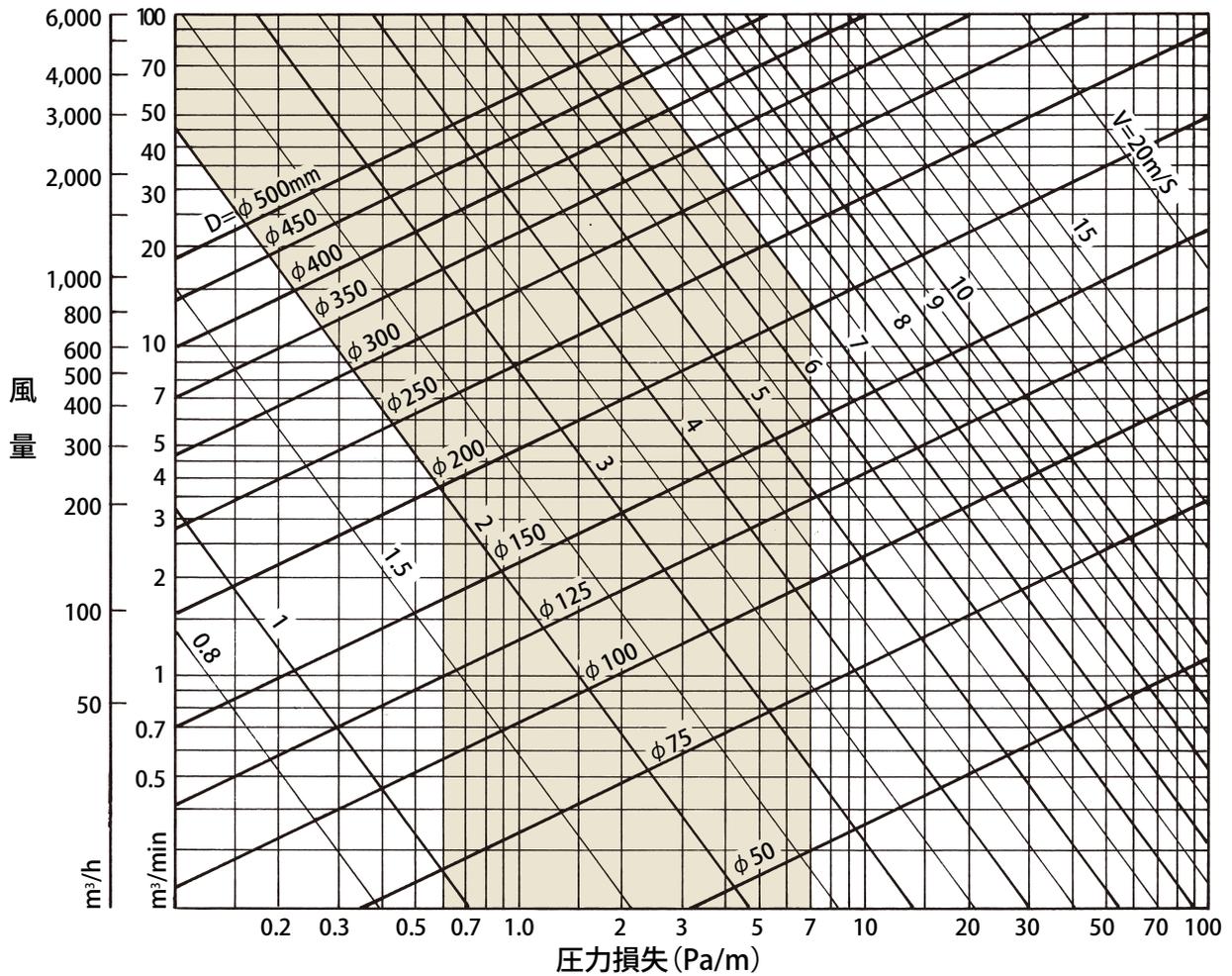
■ 消音効果 (1m)



- 注) 1. 消音タイプの場合、特に保温・防露効果は風速および静圧によって変化します。
 表記のグラフはφ200ダクト、風速：4m/s、静圧：100Paでのデータをもとに作成したものです。
2. 送風特性はPDF内の「各タイプ共通 送風特性」をご参照ください。

タイロンガラスダクトフレキシブル (各タイプ共通)

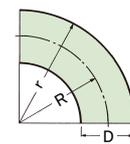
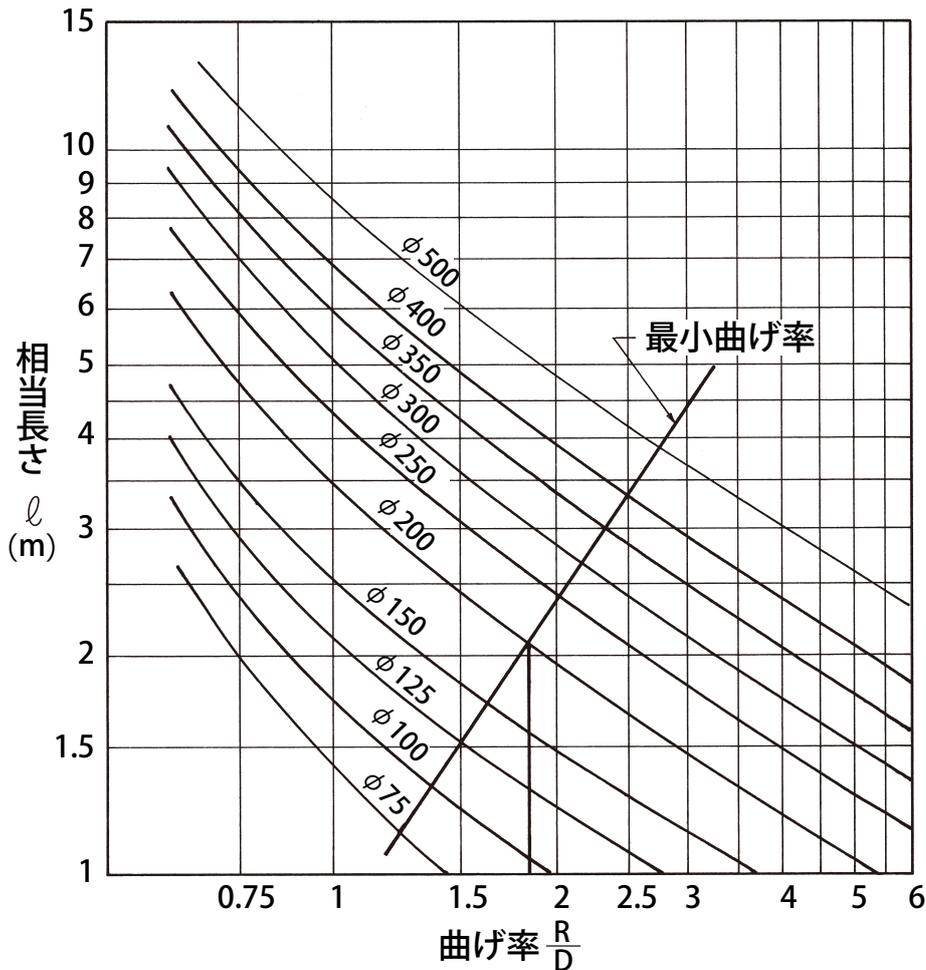
■ 送風特性 (各タイプ共通) 直管部の送風特性



※ グラスダクトは自己保持能力が劣るため、通常の施工では自重によるうねりやたわみが生じるのが普通です。
 圧力損失の計算時には、この分の安全率を見込んでください。 は推奨選定範囲です。

タイロンガラスダクトフレキシブル (各タイプ共通)

■ 送風特性 (各タイプ共通) 90° 曲り部の直管相当長さ



θ ° の場合の相当長さ
 $l \times \frac{\theta}{90}$

最小曲げ半径 $R = D \times \text{最小曲げ率}$

[例] $\phi 200$ の場合 $R = 200 \times 1.8 = 360$ (mm)

※ グラスダクトは自己保持能力が劣るため、通常の施工では自重によるうねりやたわみが生じるのが普通です。
 圧力損失の計算時には、この分の安全率を見込んでください。 は推奨選定範囲です。